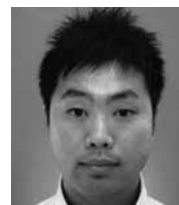


公衆衛生学			科目コード	DF3110
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
4	R	2年以上	岩垣 穂大	



科目の概要

■科目の内容

公衆衛生学とは、環境衛生の改善、伝染病の予防、個人衛生についての教育、医療と看護サービスの組織化、生活水準を保障する社会制度の開発等を通して、共同社会の組織的な努力のもとに肉体的・精神的健康を目指す学問領域です。その中でも近年、生活習慣病の発病要因の疫学的解明と予防対策は急務の課題になっています。本科目では、公衆衛生学が扱う各分野の課題について広く学び、社会全体の健康増進、健康寿命の延長について考えます。

■到達目標

- 1) 公衆衛生の概要や健康管理に関する基本的な手法・政策について簡潔に説明することができる。
- 2) 疫学的な視点から国内外の健康・疾病状況を説明できる。
- 3) 主な生活習慣病とその予防（一次予防・二次予防・三次予防）について説明できる。
- 4) 地域の健康度向上に寄与する諸活動について興味・関心を持ち、公衆衛生的な課題について説明できる。

■教科書

鈴木庄亮・久道茂編『シンプル衛生公衆衛生学2022』南江堂、2022年（2022年度版でなくても可）
（最近の教科書変更時期） 2022年4月

■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに、「専門的知識」「社会への関心と理解」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価50%＋科目修了試験50%

■参考図書

『国民衛生の動向（2022/2023）』一般財団法人厚生労働統計協会、2022年
『基礎から学ぶ楽しい疫学第3版』医学書院、2014年

レポート学習

■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	衛生学・公衆衛生学序論(第1章)	衛生学・公衆衛生学、健康をめぐる、生活と健康、健康問題の変遷・公衆衛生と医療の歴史、公衆衛生活動生命倫理、保健医療福祉の倫理 キーワード：公衆衛生、健康	公衆衛生学、公衆衛生活動を理解する。生命倫理について考える。
2	保健統計(第2章)	健康の測定と健康指標、人口統計 キーワード：平均寿命、人口動態・動態統計、老年人口割合(高齢化率)	健康の指標について学び、平均寿命と死因について考える。統計調査の方法を学ぶ。
3	疫学①(第3章)	疫学とは、疫病の分類、疾病量の把握 キーワード：疫病	疫学と統計調査について学ぶ。
4	疫学②(第3章)	疫学の方法、因果関係の評価、介入研究 キーワード：記述疫学研究、横断研究、生態学的研究、コホート研究、症例対照研究	それぞれの研究方法について長所・短所を学び、適切な方法を選択できるようになる。
5	疾病予防と健康管理(第4章)	疾病リスクと予防医学、健康管理、健康増進 キーワード：一次予防、二次予防、三次予防、健康日本21(第2次)、QOL	予防医学、健康増進について学び、自らの生活習慣を見つめなおす。
6	主な疾患の予防(第5章)	感染症、循環器系の疾患の予防、生活習慣病、アレルギー疾患の予防、不慮の事故と自殺の防止 キーワード：感染症の成立、新興感染症、再興感染症、予防接種、脳血管疾患(脳卒中)、生活習慣病、脳卒中、糖尿病、メタボリックシンドローム、がん、アレルギー疾患	感染症成立の条件について学び、予防対策について考える。脳血管疾患のリスクと予防を考える。生活習慣病のリスク(特に喫煙・飲酒)と予防を考える。
7	環境保健(第6章)	生活環境の汚染問題、公害問題、環境のあり方について学ぶ キーワード：生態系、環境汚染、ADL	人間の環境が健康に及ぼす影響について学び、新たな問題に対しては、自ら考える姿勢を育てる。
8	地域保健と地域行政(第7章)	個人と地域の関係と、一人ひとりが健康になるための地域のあり方について キーワード：地域保健活動、保健所	地域保健活動と、保健所や市町村保健センターの役割について学ぶ。
9	母子保健(第8章)	母子保健対策、母子保健の現状と課題について キーワード：出生率、合計特殊出生率、少子化	日本の乳児死亡、妊産婦死亡、合計特殊出生率の年次推移について学び、少子化の原因と母子保健対策を考える。
10	学校保健(第9章)	学校保健とは何か キーワード：学校保健、健康教育、保健指導	学校保健について学び、子供の現状の理解を深める。
11	産業保健(第10章)	よりよい職業生活を送るには、法制度について キーワード：労働基準法、労働安全衛生法、職業病	勤労者保健について学び、労働災害や職業病などの健康障害に対する対策を考える。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
12	老人保健・福祉 (第11章)	老化とは、各種制度の目的、実際の動向と今後の課題 キーワード：老化、健康寿命、健康日本21（第2次）、高齢者医療制度、特定健診、介護保険	老化や加齢に伴う健康障害、高齢者医療制度や介護保険、介護予防について学ぶ。
13	精神保健 (第12章)	精神保健と心の働きの理解、精神の健康とは キーワード：精神保健、うつ病、統合失調症、PTSD	脳と心の働き、精神の健康について学び、精神保健、メンタルヘルスケアについて考える。
14	国際保健医療 (第13章)	国際保健について、国際交流 キーワード：WHO、ユニセフ	国際的な健康課題に対処する方法を学ぶ。
15	保健医療福祉の制度と法規（第14章）	保健医療行政、保険制度、医療制度、医療保険の仕組み、障害者福祉の仕組みについて キーワード：厚生労働省、保健所、医療保険、年金	保健医療福祉の概要を学ぶ。制度や法規を理解する。

■レポート課題（3・4単位め【説明型レポート】）

1 単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
2 単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
3 単位め	① 健康の定義について説明せよ。 ② 疫学の方法について説明せよ。 ③ 疾病予防の段階について、一次予防・二次予防・三次予防のそれぞれの特徴を説明せよ。 ④ がんの死亡と罹患状況について説明せよ。
4 単位め	① メタボリックシンドロームの定義・疫学・対策について説明せよ。 ② 地域包括ケアシステムについて説明せよ。 ③ 健康日本21（第二次）の目標について説明せよ。 ④ 近年の精神保健分野における課題について説明せよ。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

【注意】・レポート用紙の「課題」記載欄には「2023年度の課題に解答」と記載、「解答欄」には番号と問題を記入してから、解答してください。

・各問500字程度を目安に、各単位2,000字程度にまとめてください。

■アドバイス

臨床の医師が個人の健康を扱うのに対し、公衆衛生学では地域社会、もしくは人々の集合的な健康を対象にしています。研究によって得られたエビデンスを用いて、様々な健康福祉に関わる政策が作られています。そのように大きく社会を変える力になるのが公衆衛生学の醍醐味であり、面白さでもあります。現代はメディアやSNSの発達で、医療福祉の分野でも様々な情報があふれかえっています。それらの情報を批判的に正しく理解していくためには、公衆衛生学の知識が不可欠です。レポートを通して考え方や専門知識をしっかり習得してください。

1・2単位め
アドバイス

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

3単位め
アドバイス

まず、健康の定義について、1947年のWHO憲章に定められたものを基準にまとめてみてください。さらに、1998年に新しい提案がなされていますが、どのような観点からどんな文言が追加されようとしたのでしょうか。

次に疫学研究についてまとめてください。疫学研究には様々な方法論があり、研究の目的や実現可能性によって使い分けられます。今回のレポートでは特に記述疫学研究、生態学的研究、コホート研究についてそれぞれ利点・欠点を簡潔にまとめてみてください。どんな場合にどの研究法を用いたらよいか考えてみてください。

次に、疾病予防についてまとめてください。疾病予防には、一次予防・二次予防・三次予防の3つの段階があります。それぞれのポイントについて簡潔にまとめてください。脳卒中、がん、エイズなどの具体例を用いて論じるとさらに理解が深まるかと思います。

最後は、がんの死亡と罹患状況についてまとめてみてください。男女別ではどのような部位への罹患が多いのでしょうか。また、がんは1981年と2016年のデータを比べると倍増していることがわかりますが、その原因は何でしょうか。さらに、「がん登録」についても説明してみてください。

4単位め
アドバイス

まず、日本におけるメタボリックシンドロームの定義についてまとめた後、疫学・対策についても簡潔にまとめてください。特定保健指導対象者はどのような判定でどのように階層化されるのでしょうか。

次に、地域包括ケアシステムとはどのような考え方でしょうか。また、その構成要素にはどのようなものがあるのでしょうか。地域包括支援センターの役割にも着目してみてください。

次に、第二次の健康日本21について、目標値をまとめてください。また、個人レベル、社会環境レベルではそれぞれどのような取り組みを行えば良いのでしょうか。

最後に、近年の精神保健分野における課題についてまとめてください。また、うつ病・統合失調症はそれぞれどのような特徴を持つのでしょうか。さらに、精神障害の患者数はどのような推移になっているのでしょうか。

科目修了試験

■評価基準

- 1) 公衆衛生に関わる知識や研究方法が身についている。
- 2) レポートをまとめる中で学んだ知識が身についている。
- 3) 地域の公衆衛生に関わる課題を分析し、解決に向けた提言を述べることができる。